



社屋外観

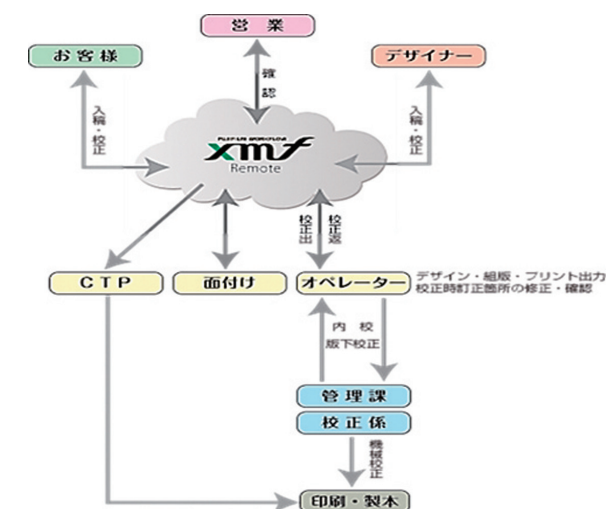
XMF Remote の導入



実施した事業の概要と成果

徳島県では少子化による生徒数減の上に学校の統廃合で、当社の主力である教材や学校関係の印刷物の需要が減りつつある。数年前より学校関係以外の顧客を増やしつつあるが、短納期への対応が難しく苦戦している。

一般企業をターゲットに付加価値を付け、価格を維持しつつ短納期に対応していく戦略を摸索するなかで、「XMF Remote」の導入を決定した。「XMF Remote」はクラウド環境で Web オンラインで入稿し、校正や承認も Web 上で行う。複数の執筆者が同時校正することも可能で、短納期化、高信頼性が実現できる。また、地域格差がなくなり大都市圏への市場拡大が期待できる。



新しいワークフローと導入システム：XMF Remote



製品開発や課題解決の具体的取組み

本事業で取上げた顧客開拓のための新たな展開は、「XMF Remote」を導入して、クラウド上で、「データ入稿・校正・検版・承認」を実現するためのもので、印刷工程の生産性の向上を図り、顧客への利便性を追求する。本システムは、根幹のアプリケーションである「XMF Remote」をはじめ、ワークステーション、デスクトップPC（Mac mini）で構成し、クラウド環境を構築している。

クラウド環境の実現により、クライアントは自分のタイミングで入稿、校正/承認ができ、承認後は自動でスピーディな下版が可能となり納期の短縮に繋げることができる。SSL対応で情報漏洩などのリスクは回避される。また、オペレーターが検版機能を活用することによりロス、ミスが減少し、校正係は内校や版下校正に集中することができるようになった。



事業者	徳島県教育印刷株式会社
代表者	代表取締役社長 宮田 博史
設立年月	昭和46年1月
所在地等	〒770-0873 徳島県徳島市東沖洲2丁目1-13 TEL：088-664-6776 FAX：088-664-6775 http://kyouiku-insatsu.co.jp/
事業区分	ものづくり技術
資本金額	1,200万円
従業員数	49人
業種	印刷・関連連業

徳島県教育印刷株式会社 の

代表取締役社長
宮田 博史



本事業取組みへのきっかけと目的

当社の事業領域である教育関係の市場は、少子化と統廃合による学校数の減少により縮小傾向にある。一般向けに事業領域を広げてきたが苦戦を強いられている。そこで付加価値の高いサービス提供で競争力を付け、事業領域を拡大するために「XMF Remote」の導入を決めた。

今後の展望と活動予定

既存のクライアントを中心に「XMF Remote」を使った「データ入稿・校正・検版・承認」を広め、5年後には当社のワークフローのスタンダードにしていきたい。また、県外の新規顧客開拓に努める。